高齢社会を生きる　No. 1　　年　組　番　氏名　　提出日　月　日

介護に関するアンケート

当てはまる箇所を丸で囲み、(　　) や [　　] には該当する事柄を書きなさい。

1　あなたの家では、祖父母など高齢の方と同居していますか？
は　い　･･･　祖父　　祖母　　曾祖父　　曾祖母　　その他（　　）
いいえ

2　あなたの家には介護を必要とする人はいますか？
は　い　･･･　祖父　　祖母　　曾祖父　　曾祖母　　その他（　　）
いいえ

3　２で「はい」と答えた人へ
介護は主に誰がしていますか？
父　　母　　祖父　　祖母　　その他（　　）

4　２で「はい」と答えた人へ
あなたは、何か介護を手伝ったことはありますか？
は　い　･･･　その理由は？

[　　]

具体的には何をしましたか？
食事介助　・　排泄介助　・　入浴介助　・　移動介助
その他（　　）

いいえ　･･･　その理由は？

[　　]

5　２で「はい」と答えた人へ
公的又は私的介護サービスを利用していますか？
は　い　･･･　デイサービス　・　ショートステイ　・　訪問介護サービス　・
その他（　　）

利用してみてどうですか？

[　　]

いいえ

6　全員へ
もし、今後、あなたの家で介護を必要とする人が出たら、あなたは介護を手伝いますか？
は　い　･･･　その理由は？

[　　]

具体的にはどんなことをしたいですか？
食事介助　・　排泄介助　・　入浴介助　・　移動介助
その他（　　）

いいえ　･･･　その理由は？

[　　]

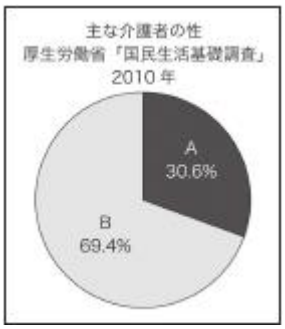
高齢社会を生きる　No. 2「ジェンダーと介護問題」

年　組　番 氏名　　提出日　月　日

高齢者の生活と福祉　　1　高齢社会を生きる　～居宅介護～

ねらい　居宅介護について、男女が共に責任をもって考える。

1　下のグラフのBの　69.4%に当てはまるのは男性か、女性か？（　　）



2　1では、なぜそう思ったのか、理由を書きなさい。

3　介護について、性別役割分業意識はなかっただろうか？（例「男は仕事、女は家事・育児・介護」）

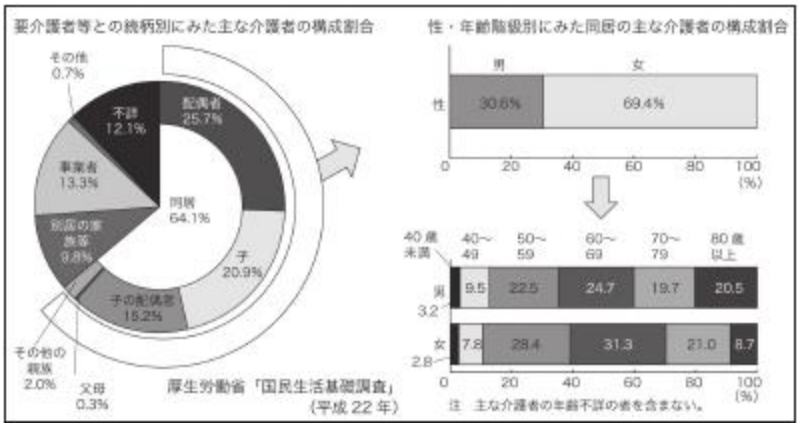
「Be　yourself」P.3　参照

女性介護者の負担が大きい。（家事・育児・介護・仕事も担っており、身体的・時間的・精神的負担が大きい。）

介護者の悩み（複数回答）	1	ストレスや精神的負担が大きかった。	52.7%
	2	睡眠が十分に取れなかった。	45.7%
	3	家を留守にできなかった。	41.8%
	4	自分の時間が持てなかった。	40.3%
	5	食事や排泄、入浴などの世話の負担が大きかった。	37.3%
	6	症状の変化に対応できず不安だった。	21.6%
	7	仕事に出られなかった。	17.3%

厚生省「人口動態社会経済面調査」1997　年

4　居宅介護では、具体的に誰が介護にあたっているのか？



上記のグラフから分かることはどんなことか、書きなさい。

高齢社会を生きる　No. 3「高齢者の家族状況」

1　高齢者の家族状況

年　組　番　氏名　　提出日　月　日

（1）福島市近辺の高齢化率

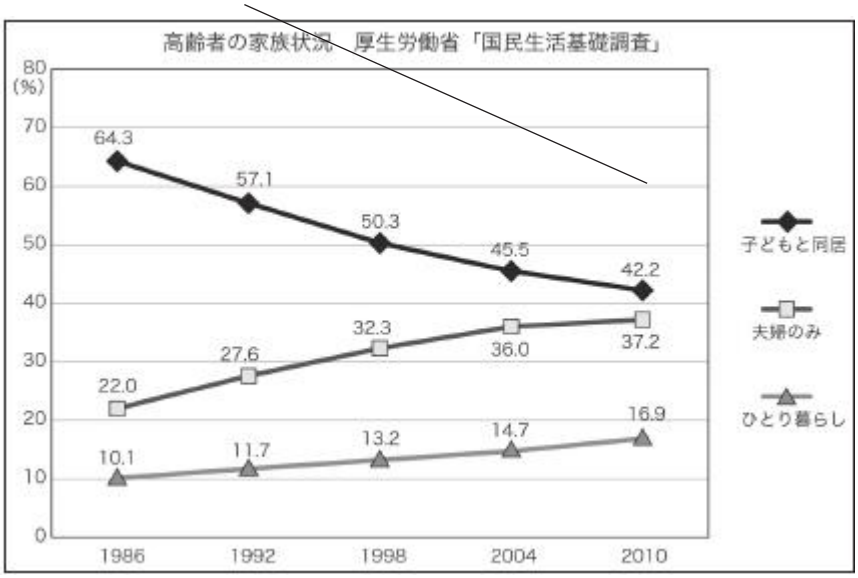
高齢化率とは、（　　）歳以上の人口が全人口に占める割合

（平成　24　年８月１日現在）

福島県　25.9%
全　国　24.0%

市町村名	高齢化率（%）	市町村名	高齢化率（%）（高い順）	市町村名	高齢化率（%）（低い順）
福島市	24.9	金山町	56.1	西郷村	19.2
二本松市	27.1	昭和村	53.8	郡山市	21.6
伊達市	29.2	三島町	48.6	富岡町	21.7
本宮市	23.7	只見町	41.6	大熊町	21.7
桑折町	31.5	西会津町	41.4	鏡石町	22.2
国見町	31.2				
川俣町	32.7				
大玉村	23.4				
飯舘村	30.6				

（2）高齢者の家族状況



（3）（2）から分かることはどんなことか？

高齢社会を生きる　No.４「男女共に居宅介護について考える」

年　組　番 氏名　　提出日　月　日

1　VTR「”　老い　”　を支える」一橋出版　　地域に根づいたボランティア活動

VTR　の内容

有料による公的・私的介護サービスの他に、ボランティアによる介護サービスを実践している例を紹介している。弁当宅配・掃除・買い物・薬の代理受け取りなどを通して、高齢者がどのような助けや言葉かけを必要としているかが読み取れる。また、高齢者の立場に立ってサービスを提供する場合の注意点なども専門家が解説している。

VTR　から気づいたことなどを書こう！

2　次のケースの場合、居宅介護をどのように行っていくか、考えてみよう！

都市部に夫婦で住んでいる。共働き。
娘は県外の大学生、息子は近くに就職。
父方の祖母は過疎地（車で　30　分）に一人暮らし。
祖母に介護が必要になった（祖父は既に死亡）。
もしも、あなたがこの家庭の夫又は妻だったら、どのように介護をしていくか？
祖母はできれば家を離れたくないと思っている。

＜考える視点＞
○誰が
○どこで
○どのようにして
○連携、協力できる人は？
○どんな介護サービスが必要か？
○自分なりに新しい工夫を！

誰が	どこで
どのようにして	連携、協力できる人は？
必要な介護サービスは？	この介護方法にした理由や思い、ポイント

高齢社会を生きる　No.５「自己評価」

自己評価をしてみよう！

年　　組　　番　氏名　　提出日　　月　　日

該当するところを◯で囲み、感想を書こう！

自己評価票

1　男女が共に責任を持ち、協力し合って介護することの大切さが分かりましたか？ はい　　少し分かった　　分からなかった
2　要介護者の気持ちを考えた介護が大切であるとことに気づきましたか？ はい　　少し分かった　　分からなかった
3　将来、積極的に介護に取り組んでいきたいと思いましたか？ はい積極的に　　少し取り組みたい　　取り組みたくない
◎　授業を受けてみて、介護について気づいたことなど、感想を書こう。